



祝

二十歳

令和5年占冠村二十歳を祝うつどい



なかじま たける
中嶋 健さん

今こうして二十歳を迎えることができるととてもうれしいです。そしてここまで育ててくれた両親にはとても感謝しています。現在通っている調理製菓専門学校は3月に卒業し、社会人となります。これからは「人脈を広げること、失わないこと」を頑張ろうと思っています。自分も周りの人を大切に、人に助けてもらえるような、そんな人になりたいです。



いしがき はると
石坂 陽都さん

この度生まれ育った故郷で二十歳の式典を迎えることができ、大変うれしく思います。二十歳を迎え、さまざまなことを自分で決められるようになり、ようやく大人の仲間入りができたとような気がしています。これからも大人としての自覚を持って、自分らしく頑張ります。



もりた めい
森田 芽依さん

この度は大変な状況の中、無事に二十歳の式典を迎えることができ、うれしく思います。これまで私を育ててくれて、さまざまなことに挑戦させてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。両親やお世話になった方々に恩返しできるように自分らしく励んでいきたいです。



まつもと れみ
松本 玲実さん

無事に人生の節目を迎えることができ、大変うれしく思います。これまで支えてくださった皆さまに感謝申し上げます。現在は占冠村を離れて生活していますが、占冠村で育つことができ良かったと思っています。今後は常に現状に満足することなく、さらなる高みをめざしてまいります。

令 和5年1月7日(土)、占冠村コミュニティプラザにて『二十歳を祝うつどい』が開催され、平成14年4月2日(平成15年4月1日)生まれの占冠村の出身者4人が出席し、二十歳の門出を祝いました。

これまでは『占冠村成人式』の名称で同趣旨の式典を開催してきましたが、民法改正により令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、これまで同様20歳を迎える方を対象とした式典として、『二十歳を祝うつどい』と名称を改めての開催となりました。

式典では、姉妹都市のアスペン市を訪問中の田中村長に代わり、松永副村長から「豊かな自然に恵まれたこの村で育った皆さんは、まさに『村の宝』です。皆さんが、村独自の取り組みである姉妹都市アスペンとの交換留学や広島平和体験学習などを通して培った、平和を愛する心や国際感覚を存分に生かし、豊かな感性と信念、そして強さを持ってこれからの人生を切り開いてください」との式辞がありました。

また、児玉村議会議長からは「二十歳を迎えた皆さんは、一人の社会人として巣立つとともに、一人の大人としての義務と責任を負う厳粛なる人生の第一歩を踏み出されま

した。政治的にも経済的にも厳しい時代ではありますが、若い皆さんは幅広い視野を持つて、物事を正しい判断と英知によって見定めてください。一人一人が自分に自信を持ち、悔いの残らない幸せな人生を見つけてください」とのお祝いのメッセージが贈られました。

代表の松本玲実さんによる『誓いのことば』では「私たちは、法律上は既に成人となっていますが、改めて大人の仲間入りをしていくことを決意いたしました。今日という日を契機に、一人の大人、そして、社会の一員として早く認めていただけるように、日々勉強するとともに、皆さまからの教えや言葉を無駄にすることのないよう、一日一日を大切に生き、成長していきたいと思えます」と力強い言葉が述べられました。

また、同じく代表の石坂陽都さんからは「本日はこのような場を設けていただき、また、多くの励ましのお言葉やお祝いのお言葉を頂きましたことに對しまして、厚くお礼申し上げます。二十歳になりましたことを機に、大人としての自覚を持ち、社会の一員として、責任を持って自分の人生を切り開いていきたいと思えます」と謝辞が述べられました。